



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月8日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 東 名  
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下尚久  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬透 TEL 03-5566-8215  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	14,010	△46.2	△4,173	—	△4,162	—	△4,268	—
2020年2月期第1四半期	26,043	△4.3	629	△48.1	615	△49.0	261	△63.0

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △4,369百万円 (—%) 2020年2月期第1四半期 64百万円 (△91.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△100.33	—
2020年2月期第1四半期	6.14	6.13

(注) 2021年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	50,931	13,125	25.7	308.14
2020年2月期	53,194	17,707	33.3	415.85

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 13,108百万円 2020年2月期 17,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年2月期の配当につきましては、現時点では「未定」とし、業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要因が多いことから、現段階において合理的に算定することが困難と判断し「未定」としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	42,554,100株	2020年2月期	42,554,100株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	12,286株	2020年2月期	12,286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	42,541,814株	2020年2月期1Q	42,541,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景況感は急激に悪化しており、今後も経済活動の停滞が長期化することも懸念され、先行きは極めて不透明な状況となっております。

当社グループが属する靴小売業界におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、全国的に不要不急の外出を控える動きが広がったことで来店客数が大幅に落ち込み、今後もウィズコロナ時代の新しい生活様式に対応できるまでは、厳しい経営環境が続くものと思われま

このような環境に対応すべく当社グループは、「商品の改革」「店舗・売場の改革」「働き方の改革」の3つの改革を推進し、業績回復に向けた経営基盤の強化に努めました。また、本社機能のスリム化やIT活用による業務の効率化など、コスト構造改革を推進いたしました。

当社グループのボトルネックである在庫の適正化では、全国のイオングループの商業施設を中心に別会場催事を実施し在庫処分の販路拡大を図り、また、新型コロナウイルスの影響による売上高の減少に対応した仕入計画の見直しを行いました。

商品開発では、新レディースブランド「ヒールミー」と「レスモア」をデビューさせるなど、強いブランドの確立、お客さまの声を反映したPB商品開発に努めました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2020年4月7日に緊急事態宣言が発令され、最大時で当社グループの400を超える店舗において、営業時間短縮や臨時休業をしており、5月25日には緊急事態宣言は解除されたものの、これらの期間中における売上高の減少、固定費等の費用負担は、当社グループの事業活動に多大な影響を及ぼしました。また、新型コロナウイルスの影響で在庫消化率が悪化し、商品在庫の適正化を目的とした在庫処分（評価損や廃棄損を含む）が増加したことにより、売上総利益率につきましても、30.3%（前年同期比14.7ポイント減）となりました。

出退店につきましては、スケッチャーズ幕張新都心店など3店舗を出店し、一方で不採算店舗を中心に14店舗を退店し、これらにより当第1四半期末における当社グループの店舗数は878店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高140億10百万円（前年同期比46.2%減）、営業損失41億73百万円（前年同期は営業利益6億29百万円）、経常損失41億62百万円（前年同期は経常利益6億15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失42億68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円）となりました。

当社グループはセグメント情報を記載しておりませんが、商品別売上状況は次のとおりであります。

商品別売上状況

商品別	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比（%）
婦人靴	2,489	17.8	45.0
紳士靴	1,727	12.3	47.9
スポーツ靴	5,602	40.0	58.3
子供靴	3,385	24.2	58.7
その他	806	5.7	52.9
合計	14,010	100.0	53.8

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は509億31百万円となりました。

これは主に売上預け金の増加4億12百万円、現金及び預金の減少2億26百万円、商品の減少25億11百万円により、前連結会計年度末と比較して22億62百万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は378億5百万円となりました。

これは主に短期借入金の増加67億円、電子記録債務の減少18億38百万円及び買掛金の減少19億4百万円により、前連結会計年度末と比較して23億19百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は131億25百万円となりました。

これは主に利益剰余金の減少44億80百万円により、前連結会計年度末と比較して45億81百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要因が多いことから、現段階において合理的に算定することが困難と判断し「未定」としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,559	1,333
売掛金	321	471
売上預け金	3,172	3,584
商品	35,370	32,859
その他	1,968	1,949
流動資産合計	42,393	40,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,537	1,592
その他(純額)	1,072	1,053
有形固定資産合計	2,610	2,645
無形固定資産	418	513
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,078	6,028
その他	1,693	1,544
投資その他の資産合計	7,772	7,573
固定資産合計	10,801	10,733
資産合計	53,194	50,931

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	317	143
電子記録債務	8,756	6,918
買掛金	8,025	6,121
短期借入金	9,600	16,300
1年内返済予定の長期借入金	1,211	1,170
未払法人税等	442	113
ポイント引当金	63	50
賞与引当金	229	511
役員業績報酬引当金	2	—
その他	3,009	2,780
流動負債合計	31,656	34,108
固定負債		
長期借入金	1,970	1,715
退職給付に係る負債	493	484
資産除去債務	1,193	1,380
その他	172	116
固定負債合計	3,829	3,697
負債合計	35,486	37,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,755	3,755
資本剰余金	3,586	3,586
利益剰余金	10,130	5,649
自己株式	△4	△4
株主資本合計	17,468	12,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581	468
為替換算調整勘定	35	32
退職給付に係る調整累計額	△395	△380
その他の包括利益累計額合計	222	121
新株予約権	16	16
純資産合計	17,707	13,125
負債純資産合計	53,194	50,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	26,043	14,010
売上原価	14,320	9,763
売上総利益	11,722	4,247
販売費及び一般管理費	11,093	8,420
営業利益又は営業損失(△)	629	△4,173
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	25
その他	1	3
営業外収益合計	5	28
営業外費用		
支払利息	12	17
持分法による投資損失	6	0
その他	0	0
営業外費用合計	19	18
経常利益又は経常損失(△)	615	△4,162
特別利益		
受取補償金	—	4
店舗家賃免除益	—	179
特別利益合計	—	184
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	173	23
店舗閉鎖損失	—	4
臨時休業等関連損失	—	213
特別損失合計	174	242
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	440	△4,221
法人税、住民税及び事業税	216	64
法人税等調整額	△37	△18
法人税等合計	179	46
四半期純利益又は四半期純損失(△)	261	△4,268
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	261	△4,268

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	261	△4,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	△113
為替換算調整勘定	4	△3
退職給付に係る調整額	10	15
その他の包括利益合計	△196	△101
四半期包括利益	64	△4,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64	△4,369
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3） 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。